

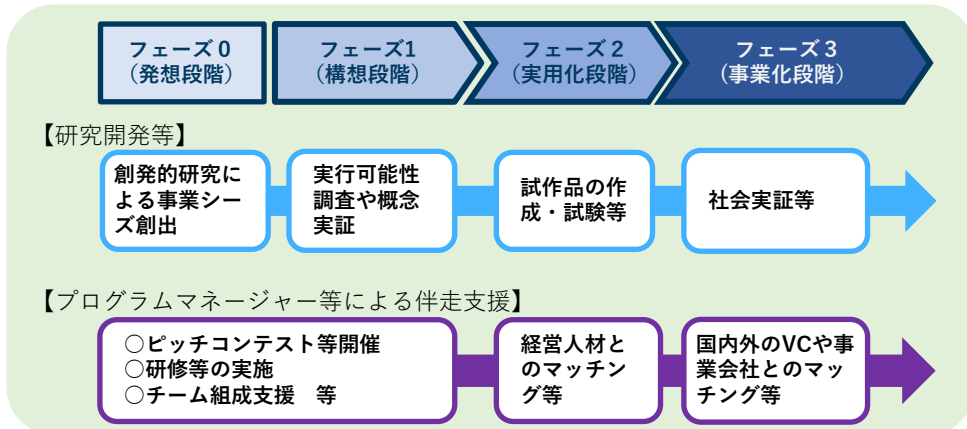
4. 研究開発環境の整備

研究開発と成果の普及を効果的に行うための研究開発環境の整備（一部抜粋）

スタートアップへの総合的支援

① 研究開発型スタートアップによる現場課題の解決の強化

スタートアップが行う実行可能性調査や試作品の作成、社会実装などの取組を切れ目なく支援。今後、現場課題の解決に繋がる提案への支援を強化。



② スマート農業実証プロジェクトにおけるスタートアップ企業の参画

プロジェクトにおいて、①生産現場で技術改良を担わせることや、②試験購入を通じた製品の初期需要を創出することにより、スタートアップの取組を後押し。

ウォーターセル(株)

<参画状況>

- ・参画コンソーシアム：6地区（(株)vegeta（広島県）ほか）
- ・実証事例の約3割で利用

<取組内容>

圃場毎に各作業別の労働時間や資材投入量等を効率的に記録・集計することで、作業効率や生産性等を分析・改善



製品：アグリノート
（営農管理ソフト）

AGRIST(株)

<参画状況>

- ・参画・製品導入コンソーシアム：1地区（新富町農業研究会（宮崎県））

<取組内容>

ピーマンの自動収穫ロボット（プロトタイプ）の改良とともに、シェアリングに係るビジネスモデルを検証



製品：自動収穫ロボット

府省連携による研究の推進

- スマート農業実証、SIP、ムーンショット、GI基金などで**府省連携による研究開発や社会実装を推進**
- **府省連携により研究開発を推進し、地域の課題解決に効果を発揮**

<スマート農業実証プロジェクトにおける府省連携の例>

農林水産省と総務省で連携し、ローカル5G環境におけるスマート農業の実証を全国6箇所で実施中。

山梨県山梨市（ぶどう）



<技術概要>

高速大容量通信を利用し、スマートグラスでとらえたブドウの画像をAIで解析、摘粒や適期収穫に必要な情報を視野内に投影し、作業をサポート

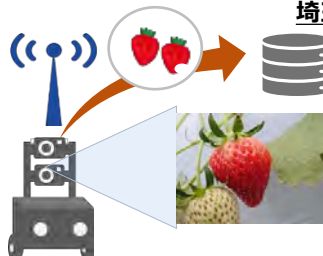
鹿児島県志布志市（茶）



<技術概要>

高速低遅延通信を利用し、自動運転摘採機の遠隔監視による大幅な省力化（1人での複数圃場の同時監視）

埼玉県深谷市（いちご）



<技術概要>

高速大容量通信を利用し、自走式ロボットに搭載された高画質カメラの画像をAIで解析、数量把握や病害診断を実施